

# 明治の金メダリスト 大橋翠石

～虎を極めた孤高の画家～



大橋翠石《大虎図》1944年 大垣市立東小学校蔵

展覧会名	明治の金メダリスト 大橋翠石 ～虎を極めた孤高の画家～
会場	岐阜県美術館
会期	2020年7月23日(木・祝)～9月13日(日) 開館時間／10時00分～18時00分(入場は閉館30分前まで) 8月21日(金)は20時00分まで開館 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
料金	一般800円(700円) 大学生600円(500円) 高校生以下無料 ( )内は20名以上の団体料金 ※半券で所蔵品展示室入場可能
主催	岐阜県美術館、中日新聞社
企画協力	神戸新聞社
監修	村田隆志(大阪国際大学准教授)
助成	公益財団法人田口福寿会

**※展覧会・関連プログラムの最新情報は岐阜県美術館 Web サイトをご覧ください。新型コロナウイルス感染症対策のため、日時・内容を変更する場合がございます。 ※会期中展示替えがございます。**

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当：橋本 担当学芸員：芝

〒500-8368 岐阜市宇佐 4-1-22

TEL 058-271-1313(代表),058-271-1314(学芸),FAX 058-271-1315

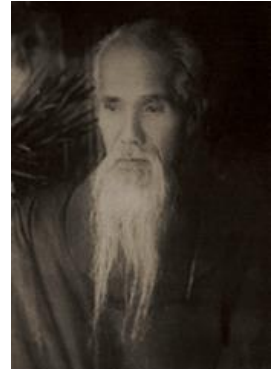
<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail: hashimoto-hironori@pref.gifu.lg.jp

## 展覧会について

日本画家・大橋翠石(おおはしすいせき・1865～1945)は、日本美術史の中でも特別な存在です。明治33(1900)年のパリ万国博覧会で、日本人画家として唯一の金メダル(金牌)に輝き、4年後のセントルイス万国博覧会でも連続して金メダルを受賞した翠石は、当時、世界で最も高く評価された日本画家の一人でした。

大橋翠石は現在の大垣市に生まれ、上京して渡辺小華(しょうか)に師事して絵を学びました。しかし翌年、師や母を立て続けに亡くして帰郷、更に濃尾大震災で被災、父と家を失います。数々の不幸を乗り越える力を虎の絵に求めた翠石は、研鑽を重ねて独自の画風を完成しました。その後翠石は療養のため神戸の須磨に隠棲し、動物たちを描きながらたった一人で自分の芸術を追求し続けました。

本展は2008年に愛知県田原市、岐阜県大垣市で開催された「大橋翠石―日本一の虎の画家」展以降12年ぶりの展覧会であり、各地から相次いで発見された名作によって翠石の画業を通覧できる、過去最大規模の回顧展として開催するものです。セントルイス万国博覧会で来場者を魅了し、「その絵を一生忘れることができない」とアメリカ人を感動させた明治の金メダリスト、大橋翠石。その全貌をご紹介します。



晩年の翠石

## 展覧会の特徴

### ① 空前の規模で開催される大回顧展

約110点の作品が一堂に会する、翠石の生前・没後を通じて史上最大規模の展覧会です。パリ万国博覧会での金メダル獲得から120年を迎える2020年は、翠石生誕155年であり没後75年という節目の年でもあります。岐阜県美術館では初めての回顧展となります。

### ② 明治天皇や著名人も愛した画家・翠石

後半生を画壇と無縁で過ごした大橋翠石の芸術を知る人は今や少なくなりつつあります。ですが、彼は生前、横山大観や竹内栖鳳という東西の画壇の巨匠と同等の評価を受けていました。また、明治天皇、東郷平八郎、大隈重信など、錚々たる人々が翠石の絵を愛し、所蔵していました。本展では、明治天皇への献上作と同じ特別な「天覧」印が捺された《白虎之図》(個人蔵)を出品します。

### ③ 相次いで発見された幻の傑作を多数展示

1908年の展覧会以降、100年以上の時を経て再び公開される傑作《悲憤》(個人蔵)や、わずか約3cm四方のなかに広大な山水を描いた《極密山水小帖》(個人蔵)など、近年発見された新出の傑作を多数出品します。



《悲憤》1908年 個人蔵



3.0cm

2.5cm



《極密山水小帖》個人蔵

#### ④ 岐阜ゆかりの作品が集結

翠石は垂井曳軸（たるいひきやま）まつりの鳳凰山に舞台障子絵を、大垣まつりの新町菅原軸（すがわらやま）に見送りや水引を残しています。それぞれの街で大切にされている岐阜ゆかりの作品が本展覧会に集結します。



《仔猫之図》 福田美術館蔵

#### ⑤ 虎だけじゃない！動物たちの展覧会

「虎の翠石」と呼ばれた翠石ですが、自宅でインコや孔雀などを飼育し、虎以外の動物も多く描いていました。本展覧会では、当時の日本では珍しかった《カンガルー之図》（個人蔵）や《氷原白熊之図》（個人蔵）などを出品します。多数出品される仔猫の絵も必見です！

### 大橋翠石 略年譜

慶応元(1865)年 4月22日	美濃国安八郡大垣北新五八番戸(現、大垣市新町二丁目)に生まれる。本名卯三郎、通称宇一郎。
明治19(1886)年	渡辺華山の息子、小華に弟子入りする。
明治20(1887)年	師と母が相次いで逝去し、失意のうちに大垣に帰郷。この頃から動物画、特に猫を描いていたが、「猫が描けるのなら虎も」と知人に勧められて虎を描き始める。
明治24(1891)年	近代以降、最大級の直下型地震「濃尾大震災」で被災。生家が倒壊、父も圧死する。写生に励んで独自の虎の絵にたどり着き、以降、国内の展覧会で連続受賞する。
明治33(1900)年	パリ万国博覧会で日本人画家として金メダル(金牌)獲得。
明治35(1902)年	明治天皇に作品を献上。
明治37(1904)年	セントルイス万博で金メダル獲得。
大正元(1912)年	結核が悪化し、療養のために神戸・須磨に転居。
大正11(1922)年	菅原軸に見送り《蹲虎之図》を制作。
大正13(1924)年	菅原軸に改めて見送り《岩上猛虎之図》を制作。
昭和7(1932)年	娘の嫁入りに際して、花嫁道具として《大猛虎之図》を描き、贈る。
昭和19(1944)年	母校、大垣市立東小学校からの依頼に応じて《大虎図》を描き、寄贈。
昭和20(1945)年 8月30日	疎開していた大垣で逝去。享年81歳。
平成20(2008)年 10月～12月	愛知・田原市博物館、岐阜・大垣市サイトピアセンターで「大橋翠石一日本一の虎の画家」展開催。
平成29(2017)年 4月27日	日露首脳会談で、安倍晋三首相がプーチン大統領に翠石の掛軸を贈呈。



## 広報画像貸出申込書

FAX 送信番号 : 058-271-1315

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名 : )		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

### 1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 ( 月号) / 発行部数	部
掲載内容				

### 2. 広報画像はご使用になりますか。

はい 画像データ到着希望日 ( 月 日)       いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

### 3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	大橋翠石《大虎図》1944年 大垣市立東小学校蔵
<input type="checkbox"/>	②	大橋翠石《白虎之図》1927年頃 個人蔵
<input type="checkbox"/>	③	大橋翠石《菅原軸見送り 岩上猛虎之図》1924年 大垣市新町菅原軸保存会蔵
<input type="checkbox"/>	④	大橋翠石《虎図》(左隻) 昭和初期、岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	大橋翠石《極密山水小帖》個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	大橋翠石《谿流登鮎之図》個人蔵
<input type="checkbox"/>	⑦	大橋翠石《仔猫之図》福田美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑧	大橋翠石《虎児之図》福田美術館蔵

## ■ 広報画像一覧

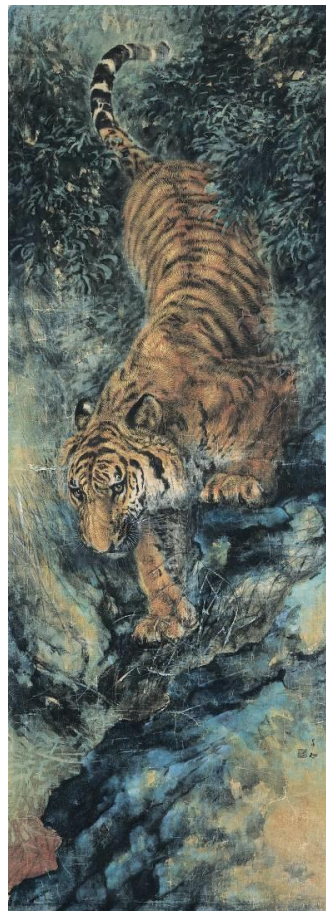
①



②



③



④



⑥



⑦



⑤



⑧



## 【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。